

# 提出書類等について

公益社団法人 日本透析医会

## 1. 変更届出書の提出について

### 1) 所属機関の変更

研究者の所属機関の変更があった場合には、「所属機関変更届」により、遅滞なくその旨を届け出なければならない。

### 2) 研究期間の延長

研究期間をやむを得ず延長しなければならなくなった場合は、必ず研究期間内に「研究期間変更申請書」を提出し、日本透析医会研究助成審査委員会による事前の承認を受けなければならない。

## 2. 研究成果の公表について

研究結果を公表する場合には、公益社団法人日本透析医会 (Japanese Association of Dialysis Physicians) の助成を得た研究である旨を明記しなければならない。刊行物に掲載した場合は、論文別刷を提出すること。

## 3. 研究報告書の提出について

### ◎ 提出書類

#### 1) 事業実績報告書

#### 2) 収支決算報告書

- ① 収支簿 [総括表] (様式第3号)
- ② 収支簿 [科目別] (様式第4号)
- ③ 証拠書類一式 (様式第5号～16号)

#### 3) 研究報告論文 (研究報告書)

公募研究費助成により行われた研究結果は、当会誌 (『日本透析医会雑誌』) ・当会HPに研究報告論文 (原著論文、または他誌に投稿中・発表済みの場合は研究報告書) として掲載し、公表する。別添<研究報告論文記載例>を参考に執筆のうえ、提出すること。

#### 4) 論文別刷 (該当者のみ)

### ◎ 提出期限

研究期間完了日から起算して1カ月を経過した日

### ◎ 提出方法

- ・ 「事業実績報告書」「収支決算報告書 (収支簿、証拠書類を含む)」は、郵送にて原本を提出のこと。なお、内容についての確認、修正等の連絡をする場合があるため、必ず手元にコピーを残すこと。
- ・ 「研究報告論文 (研究報告書)」は、プリントアウトした原稿1部に電子媒体 (USBメモリー等) を添えて提出する。電子媒体の提出については、E-mailでの提出に代えることができる。

### ◎ 提出先

公益社団法人日本透析医会

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町 1-15-2 淡路建物ビル 2階

TEL : 03-3255-6471 FAX : 03-3255-6474

E-mail : [info@touseki-ikai.or.jp](mailto:info@touseki-ikai.or.jp)



# 日本透析医学会雑誌投稿規定

1. 本誌は(公社)日本透析医学会の機関誌として年3回以上発行する。
2. 投稿者は当会の会員とする。ただし、当会々員以外の者であっても広報委員会の承認を得た場合にはこの限りでない。
3. 本誌の内容は総説、特集、原著、Letter to the Editor、その他とする。
4. 著作権の保護  
投稿者は、本誌に掲載する著作物に関する一切の権利を、(公社)日本透析医学会に譲渡する。
5. 原稿は  
〒101-0041  
東京都千代田区神田須田町 1-15-2 淡路建物ビル 2F  
(公社)日本透析医学会事務局  
に、原本1部、コピー2部及び原稿データ(図表含む)を収録した電子記憶媒体を簡易書留便で郵送する。もしくは、電子投稿(電子メール: info@touseki-ikai.or.jp)する。
6. 掲載原稿の採否及び順位は広報委員会で決定する。
7. 編集の都合により、原文の論旨を変えない範囲内で著者に訂正を求めることがある。
8. 校正は初校のみ著者が行い、誤植の訂正程度にとどめ、版の組みかえにはならない。再校以後は広報委員会において行う。
9. 原則として掲載料は無料とする。別刷は30部までは無料とし、それ以上は著者の実費負担とする。
10. 掲載原稿(図表などを含む)は原則として返還しない。
11. 原稿執筆の要領は次のとおりとする。要領に合わない場合は著者に修正を求める。
  - (1) 原稿の長さは、その都度広報委員会で決定する。
  - (2) 原稿は邦文とし、横書き、口語体、平仮名、当用漢字、現代仮名使いを使用する。
    - ① 原著は要旨、緒言、対象・方法、結果、考察、結語、文献の形式とする。
    - ② 総説、特集については最初に要旨を記載する。
    - ③ いずれの場合も簡略化題名及び5語以内のキーワードを記載する。
    - ④ 原著、学術論文には題名、著者名、所属に英文を併記する。
  - (3) 図はレタリングしたものとする。邦文の標題を図は下方に、表は上方につける。写真は図とする。カラー写真は原則として著者の実費負担とする。
- (4) 図表の引用の場合は、原則として著者が出版社の承諾を得てその出典を明らかにする。
- (5) 図表の挿入箇所は原稿用紙の右欄外に朱書する。
- (6) 外国人名、地名、薬品名は原語またはカタカナを用い、明瞭な活字体とする。
- (7) 度量衡はCGS単位とし、km, mm, l, dl, ml, kg, g, mg, mEq/l, mg/dlなどを用い、数字は算用数字(1, 2, 3など)を用いる。
- (8) 学会に既に発表している場合には、その旨を末尾に記載する。
- (9) 引用文献数は30以内とし、本文の引用箇所に順次番号を付し、本文の末尾に一括して、次の形式に従い引用順に記載する。
  - ① 書籍は、著者名(3名までは全員記載、4名以上の時は3名まで記載し、以下は、「他」、または「et al.」として省略する。)著者名: 論文名、編者名、書籍名、所在地: 出版社名、発行年(西暦); 頁(始頁-終頁)の順に記載する。  
(例) 浅野 泰: 透析低血圧の病因。長澤俊彦, 河辺香月, 伊藤克己, 他編. Annual Review 腎臓 1998. 東京: 中外医学社, 1998; 148-153.
  - ② 雑誌は、著者名(3名までは全員記載、4名以上の時は3名まで記載し、以下は、「他」、または「et al.」として省略する。)著者名: 論文名、雑誌名、発行年(西暦); 巻: 頁(始頁-終頁)の順に記載する。  
(例) Manto A, Cotroneo P, Marra G, et al.: Effect of intensive treatment on diabetic nephropathy in patients with type I diabetes. Kidney Int 1995; 47: 231-233.  
雑誌名は略名で(外国雑誌は World Medical Periodicals, 邦文雑誌は日本医学雑誌略号表を用いて)記載する。但し種々の学会の「予稿集」は、引用文献としては認められない。(抄録が学会誌の一部として公表されている場合は可)
  - ③ インターネット上の資料は、著者名等「タイトル」URL(アクセス日時)の順に記載する。  
(例) 厚生労働省「医薬品の薬価収載等について」<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/01/dl/s0114-7a>.

## 12. 研究倫理

- (1) 臨床研究の場合は、世界医師会によるヘルシンキ宣言を基礎とし、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等、文部科学省・厚生労働省の倫理指針に準拠していることを原則とする。また施設の倫理委員会より承認を得ていることを論文中に明記する。
- (2) 動物実験の場合は、施設のガイドラインに準拠し承認を得ていることを論文中に明記する。

認を得ていることを論文中に明記する。

- (3) 診療報酬制度で認められていない治療法を用いた臨床研究についてはその旨及び患者の同意を書面により得たことを論文中に明記する。

## 13. 利益相反

著者は論文の研究について利益相反状況を開示しなくてはならない。自己申告による COI 報告書（別紙 1）を提出する。

別紙 1

自己申告による COI 報告書

著者名：

論文題名：

(前年1年間(1月1日～12月31日)の利益相反状態を記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名・企業名などの記載
①役員、顧問等の報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有・無	
⑤原稿料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有・無	
⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑦奨学(奨励)寄付金など総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑧企業などが提供する寄附講座 (企業などからの寄附講座に所属している場合に記載)	有・無	
⑨研究、著作等とは無関係な旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体からの年間5万円以上	有・無	

(本COI申告書は申告日より3年間保管されます)

(申告日) 年 月 日

申告者(署名) \_\_\_\_\_ ㊟

ご署名欄は直筆でお願い致します

- ※ 必ず封筒に「自己申告によるCOI報告書在中」とご記入の上、「親展」でお送りください。  
※ 必ず封筒に著者名(差出人名)を明記してください。